

行政事業レビューシート (環境省)

予算事業名	環境と経済の好循環のまち推進活動費		事業開始年度	平成16年度		作成責任者
担当部署	総合環境政策局		担当課室	環境計画課		環境計画課長 正田 寛
会計区分	一般会計 エネルギー対策特別会計(エネルギー需給勘定)		上位政策	環境・経済・社会の統合的向上		
根拠法令 (具体的な 条項も記載)	-		関係する計 画、通知等	-		
事業の目的 (目指す姿を簡 潔に。3行程度 以内)	環境と経済の好循環のまちモデル事業は、地域発の創意工夫と幅広い主体の参加によって環境と経済の好循環を生み出すまちづくりに取り組んでいるモデル地域に対し、一般会計による事業とエネルギー対策特別会計による事業の双方一体とした支援を行っていき、環境保全をバネにしたまちづくりの成功例を広く発信し、環境と経済の好循環を生み出していく。					
事業概要 (5行程度以 内。別添可)	環境と経済の好循環を地域発の創意工夫と幅広い主体の参加によって生み出すまちづくりのモデル事業に対し、国からの委託を行うとともに、事業に必要な経費の一部を国が交付する。モデル事業について一定期間の事業評価期間を設け、事業を評価する。 ①実施体制の整備と普及啓発などソフト事業の実施 ②二酸化炭素排出量を削減する具体的まちづくり事業の実施 ③事業が終了した団体について事業の評価を実施					
実施状況	平成16年度選定地域・・・9地域(いわき市、太田市、飯田市、周南市、住田町、飯豊町、出雲市、上勝町、栲原町) 平成17年度選定地域・・・9地域(塩竈市、東京都港区他6区、川崎市、富山市、高岡市、備前市、稚内市、鱒ヶ沢町、遠野市) 平成18年度選定地域・・・1地域(福生市) 平成19年度選定地域・・・7地域(洞爺湖町他3市町、土幌町、静岡市、掛川市、長野市、南信州、備前市他4市町) 平成20年度及び平成21年度は、事業の評価を行った。平成21年度は、評価委員会を開催し、事業評価書を作成した。					
予算の状況 (単位:百万円)		19年度	20年度	21年度	22年度	23年度要求
	予算額(補正後)	(一)44 (特)840	(一)10 (特)20	(一)8	0	0
	執行額	(一)36 (特)1,037	(一)2 (特)484	(一)1		
	執行率	(一)81.8 (特)51.5	(一)20 (特)89.5	12.5		
	総事業費(執行ベース)	1,073	486	1		
自己点検	支出先・ 用途の把握水準・ 状況	・事業評価書の作成業務に関しては、有識者へのヒアリング、現地調査、委員会開催等を実施することにより進めた が、その都度業者と打ち合わせを実施(年6回程度)することにより、業務の進捗状況や支出状況を把握した。 ・交付金事業に関しては、事業完了後3年間は毎年、導入した施設・設備の稼働状況やCO2削減量、経済活性化効果 等の報告を求めることにより、業務の実施状況を把握している。				
	見直しの 余地	本事業は平成21年度限りの経費であるが、交付金で整備された施設・設備が当初の目的通り効果的に稼働している ことを把握するため、今後も、本省において、もしくは地方環境事務所の協力を得ることにより現地調査を実施する。				
予算 監視 の 効率	その他 (見直し余地欄に記載の通り、当該事業については平成21年度限りで廃止。)					
補 記	○予算繰越(当該年度の前年度からの繰越額)					
	19年度	20年度	21年度			
	1,175	521	0			

環境省
1百万円

事業評価の全体統括を行う。



【一般競争入札・請負】

A. 日本エヌ・ユー・エス株式会社
1百万円

有識者へのヒアリング、現地調査、
「環境と経済の好循環のまちモデル事業」の評価手法に関する基本的ガイドライン改訂版の作成、
事業評価書の作成、評価委員会を開催

資金の流れ
(資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する)
(単位:百万円)

費目・使途
 (「資金の流れ」
 においてブロックごと
 に最大の金額が支出さ
 れている者について記
 載する。使途と費目の
 双方で実情が分かるよ
 うに記載)

A.日本エヌ・ユー・エス株式会社			E.		
費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)
雑役務費	事業評価等検討調査費	1.47			
計		1.47	計		0
B.			F.		
費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)
計		0	計		0
C.			G.		
費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)
計		0	計		0
D.			H.		
費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)
計		0	計		0